

平成28年(2016年)12月5日

## 平成28年度金沢市議会12月定例会月議会 市長提案説明

本日、ここに各位のご参集をいただき、平成28年度金沢市議会12月定例会月議会が開かれますに当たり、市政の概況と提出議案の大要につきまして、ご説明を申し上げます。

それに先立ち、皇族として国際親善や、歴史・文化など幅広い分野にお力を注がれた三笠宮崇仁親王殿下の<sup>ごきょ</sup>薨去<sup>ごうきょ</sup>に対し、<sup>ごういん</sup>衷心より<sup>ごういん</sup>哀悼の意を表する次第であります。

### 【市政の概況】

さて、世界は今、大きな変革期にあり、この6月の英国のEU離脱の選択に続き、先般の米国大統領選挙において、排外主義とも云われる方向性が国民に支持されるなど、グローバル化に逆行する動きが広がりを見せております。

混沌とする世界にあって、新たな国際秩序の構築が焦眉の急となっており、急速に進むグローバル化の功罪を改めて検証し、負の側面を克服しながら、人類の更なる繁栄につなげていかなければなりません。そのためにも、自由及び人権の尊重や法による支配と云った、普遍的価値を遵守することは勿論のこと、何よりも多様な価値観を認め合う寛容さを持つことが大切であり、各々の国や地域が、これまで以上に連携を図りながら、広く英知を結集していくことが望まれます。

そうした中で、我が国も、国際社会の安定化に積極的な役割を果たすことが求められますことから、今後の動向を注視するとともに、本市としても、このことによる地域社会への影響等を見極めながら、適切に対処してまいりたいと存じます。

折しも、昨年春の北陸新幹線の開業もあって、本市には多くの方々が訪れており、これまで以上にまちが活気づいております。この機を<sup>い</sup>逸することなく、個性が際立つ魅力と活力あふれるまちづくりを進め、国の内外に発信していかなければなりません。

従って、北陸新幹線の金沢以西の整備、とりわけ年内にも予定される、敦賀以降のルート<sup>の</sup>決定に深い関心を寄せてまいりますとともに、新幹線開業を次なるステップにつなげ

ていくためにも、将来に向けた布石を着実に打っていくことが重要であり、改めて、「世界の交流拠点都市・金沢」の実現に向けて、取り組みを加速したいとの思いを強くしているところでございます。

同時に、交流拠点都市の土台ともなる、絆やつながりを大切にした温もりのある地域社会の構築が必要不可欠なことから、地域コミュニティの充実や市民協働の推進に、従前にも増して力を注ぎたいと考えております。

このため、明年度の予算編成方針において、特別要求枠を設けるとともに、コミュニティの充実等にかかる基本理念等を定める条例の明春の制定をめざし、準備を本格化してまいりたいと存じます。

さて、わが国の経済は、四半期のGDPが3期連続でプラスになるなど、緩やかな回復基調が続いているものの、先に述べた、米国・英国の動きや、新興国経済の失速に対する懸念などから、先行きに不透明感が広がっております。

そうした状況を打開するため、政府は、デフレからの脱却と600兆円経済の実現をめざし、大規模な経済対策を決定し、この秋の臨時国会において補正予算の編成を行ったところであり、本市としても、これに積極的に呼応してまいりたいと考えております。

今回提出した補正予算案において、外環状道路海側幹線の整備や小中学校の大規模改修などの公共事業を大幅に追加するとともに、臨時福祉給付金の支給や都心軸沿線へのファッション関連店舗の出店に対する支援などに努めることとしており、引き続き、地域経済の活性化に、市としてなし得る最善を尽くしてまいりたいと存じます。

加えて、観光面では、観光立国ショーケース推進の一環として、明春、釧路市、長崎市とともに、首長サミットを本市において開催するなど、外国人旅行者の更なる誘客を図ってまいりますほか、北陸新幹線の開業により、身近になった東北地方からの誘客をめざし、先般、現地旅行関係者へのトップセールスや、JR東日本及び長野市とタイアップした広域観光モニターツアーを実施するなど、プロモーション活動にも力を注いでいるところであります。

また、この10月に、私が欧州を訪れた際に、フランス・パリのユネスコ本部において、

国内創造都市との合同展覧会を開催したほか、創造都市のアンギャンレバン市との間で、本市の工芸とフランス先端アートとの連携強化を図ることといたしました。併せて、そうした取り組みが評価され、明年7月に、パリで開催される「第18回ジャパン・エキスポ」に、本市が国内で唯一、観光展示都市として選ばれた次第であります。

一方、新たな価値創造拠点の形成をめざし、ITビジネスプラザ武蔵内において、オープンサロンスペースを年内にも開設し、クリエイターや起業家が連携したセミナーや交流会を開催することとしておりますほか、卯辰山工芸工房のリニューアルに向けた基本計画の策定に鋭意取り組んでいるところであり、年度内を目途に取りまとめてまいりたいと存じます。

ところで、個性を生かした魅力あふれるまちづくりについてであります。先般、文化プログラム推進本部を庁内に設置した次第であり、今後、関係機関と連携を図りながら、東アジア文化都市事業をはじめとする文化創生新戦略の推進に取り組んでまいりたいと考えております。

また、先月、成巽閣庭園せいじゆんに関する国名勝の追加指定について、答申がありましたので、引き続き、文化財の価値向上や歴史・文化資産の保全・活用に力を入れてまいりますほか、茨木町地内の市指定保存建造物を活用し整備を進めてきた金澤町家情報館が、先月、オープンいたしましたので、町家の保全活用を図るための情報発信拠点として、多くの方々に利用されるよう、運営に工夫を凝らしてまいりたいと存じます。

さらに、犀川、浅野川沿いの川筋景観を保全するための条例の明春の制定をめざし、現在、区域や保全基準等の検討を鋭意進めておりますほか、天神橋及び梅ノ橋の照明の整備が今月中に完了いたしますことから、風情ある夜間景観の創出を図り、浅野川界限の魅力と回遊性の向上につなげてまいります。

また、金沢美術工芸大学であります。先般、金沢大学工学部跡地への移転整備に向けて、メディアセンターや国際交流センター、附属美術館などの新しい機能を盛り込んだ基本構想の骨子案がまとまりましたので、年度末の取りまとめに向けて、近く、パブリックコメントを実施することとしておりますほか、中国・大連工業大学との合同美術展の開催

に向けた準備を本格化するなど、アジアの他大学との交流促進にも力を入れているところ  
であります。

一方、金沢の新しい文化として定着しつつあるスポーツ文化につきましては、先に述べ  
た欧州訪問の際に、フランス水泳連盟との間で、2020年の東京オリンピック等の開催  
に向けて、若手選手の合宿や人的・文化的な相互交流を実施することで合意が得られまし  
た。これを受け、明年度予算編成方針の中に、東京オリンピック等関連事業推進特別枠を  
設け、準備に本格的に取り組むこととしたほか、合宿先となる金沢プールの指定管理者が、  
先般の選定会を経て選ばれましたので、今回、指定にかかる議案をお諮りした次第であり  
ます。

また、10月に開催された、第2回金沢マラソンでは、市民ランナーをはじめ、ボラン  
ティアや沿道での応援者の数が昨年を大きく上回りました。各位並びに関係機関、市民の  
皆様のご協力に深く感謝を申し上げますとともに、更に魅力的な大会となるよう一層の充  
実を図ってまいりたいと存じます。

次いで、まちの発展基盤の整備についてであります。先般、集約都市の形成に向けた  
計画の骨子案がまとまりましたので、今月から、関係団体や地域における説明会を開始す  
ることとしており、年度末を目途に計画を取りまとめてまいりたいと考えております。

また、外環状道路海側幹線4期区間の早期開通に向けて、現在、大浦町などにおける地盤  
改良や、大宮川及び金腐川の橋梁工事を進めているところであり、今後、地盤改良工事の  
前倒しを行うなど、整備に拍車をかけてまいりますほか、国が4車線化の工事を進めてい  
る、山側幹線の東部環状道路につきましても、9月の神谷内トンネルに続き、御所トンネ  
ルが先日貫通しましたので、引き続き、一日も早い事業の完成を国に働きかけてまいりた  
いと存じます。

一方、新しい交通システムの導入についてであります。先月開催した市民フォーラム  
等の結果を踏まえながら、現在、学識者等からなる検討委員会において、技術的な課題や  
環境整備等について検討を進めているところであり、年度内に提言を取りまとめたいと考  
えております。

また、コンベンション施設の充実につきましても、現在、施設整備懇話会において、既存施設の機能強化を含めて検討を重ねているところであり、年度内に基本的な考え方を整理してまいりたいと存じます。

さらに、金沢駅西広場隣接地へのインターナショナルブランドホテルの誘致であります。が、先般、鉄道建設・運輸施設整備支援機構との間で、土壌汚染への対応について協議を開始したところであり、協議に一定の時間を要しますので、用地の売払い時期が若干遅れることとなりますが、ホテルの開業時期に影響を来たすことのないよう最善を尽くしてまいりますとともに、引き続き、駅西広場周辺の交通対策や歩行者空間の確保等の検討を鋭意進めてまいりたいと存じます。

他方、定住促進策についてであります。が、まちなかでのマンション購入件数が伸びておりますことから、来年1月に、東京で開催される移住フェアに、近隣市町とともに共同出展するなど、圏域の魅力や住みやすさを広く発信してまいりますほか、空き家対策についても、適正管理にかかる啓発や補助制度の周知を図るなど、全力で取り組んでまいります。

ところで、先般発表された国勢調査結果によると、本市の高齢人口が総人口の4分の1を占めるなど、高齢化が急速に進行しており、支えあう福祉社会の構築が急がれております。

認知症対策の一環として養成を進めてまいりました、認知症サポーターの数が、現在、1万7千人を超えておりますほか、本年度からは、支援のための新たな地域リーダーとなる、オレンジパートナーの育成に取り組むとともに、市内50会場で、延べ270回を超える認知症カフェを開設するなど、体制の充実に努めているところであります。

また、在宅医療・介護連携支援センターの明年秋の開設に向けて、機能や役割についての検討を本格化しており、在宅生活を支えるための医療体制の構築に向けた計画を、年度内を目途に取りまとめでまいりたいと存じます。

総合事務室

さらに、障害のある方への施策では、この10月に開設した基幹相談支援センターにおいて、相談支援や民間事業所を対象とした研修会の開催等に、積極的に取り組んでおります。

また、次期ひとり親家庭等自立促進計画の骨子案が、先般まとまりましたので、近く、パブリックコメントを実施し、年度内の策定をめざしておりますほか、子供の貧困対策につきましても、必要な支援を行うための庁内ネットワークの構築や、相談窓口の設置に向けて、検討作業を鋭意進めているところであります。

次に、教育についてであります。この秋に策定した学校規模適正化方針について、地域や保護者の方々への説明を順次行っておりますほか、泉小学校と泉中学校の一体的整備が順調に進んでおり、中学校校舎が今月中に、また、小学校校舎及び体育館が明年3月に完了の運びとなりました。

さらに、家庭教育の充実をめざし、年度末を目途に、家庭教育推進プログラムを策定してまいりますほか、特別支援教育サポートセンター（仮称）の整備基本構想についても、策定懇話会での議論を本格化しており、明春にも基本構想を取りまとめたいと考えております。

ところで、先月4日に、地球温暖化対策の国際ルールである「パリ協定」が発効し、我が国もこれに批准いたしましたので、今後、削減目標の達成に向けて、地方自治体にも一段の取り組みが求められることとなります。

その一環となる家庭ごみの有料化制度につきましては、現在、市内各町会等を対象とした説明会を行っているところであり、実施を希望する町会の多くで説明を終えた次第であります。一定の理解も得られつつあると感じており、引き続き、市民の皆様のご協力が見られるよう、なしうる限りの努力をしてまいりたいと存じます。

ところで、第二庁舎の建設についてであります。本庁舎と第二庁舎を結ぶ上空連絡通路のあり方について、過般開かれた景観審議会において、複数の委員から異論が出されたことを重く受け止めております。先日、第二庁舎等建設特別委員会から、通路の整備と第二庁舎への議会移転を取り止めるべきとの提言を頂きましたので、私としても、その方向に沿って、整備計画の見直し作業を進めてまいりたいと存じます。

一方、女性活躍推進法の制定等を受けて、ワークライフバランスを考えた働き方改革に、社会全体で取り組んでいくことが求められております。そうした中で、市役所としても率

先して改革に取り組む必要があるとの思いから、先月末に、私自ら、金沢青年会議所理事長とともに、「イクボス宣言」を行った次第であり、「金沢市働き方改革プロジェクト」と銘打って、市役所内部の改革はもとより、広く企業等と連携しながら、仕事と子育て等の両立をめざし、働きやすい職場環境の整備に取り組んでまいりたいと考えております。

なお、先月末、青森県及び新潟県内において、鳥インフルエンザウイルスが相次いで確認されたことを受けて、国では、感染拡大の防止に全力を挙げているところであります。市といたしましても、県と連携を密にしながら、今後の情報収集に努めるとともに、必要に応じて、迅速な対応を図るなど、市民生活の安全・安心の確保に万全を期してまいりたいと存じます。

さて、この一年、市政は各般にわたり順調な進捗をみることができました。これも偏に、各位並びに市民の皆様のご協力の賜物であり、深く感謝を申し上げます。

年末・年始を間近に控え、これから明年度予算の編成作業が本格化することとなりますので、引き続き厳しい財政環境にはありますが、将来に向けた布石を着実に打つことに、全庁一丸となり、これまで以上に知恵を絞りながら全力を尽くしてまいりたいと存じます。各位並びに市民の皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

#### 【提出議案の説明】

さて、今回提出いたしました予算案は、公共事業の前倒しなど、地域経済の活性化にかかる経費や、福祉・保健に関する経費の追加のほか、職員給与費の整理などが主なる内容であり、全会計の補正額は、83億2,681万円となりました。

まず、都市整備・土木関係では、先に述べた、外環状道路海側幹線4期区間で、地盤改良を進めてまいりますほか、金沢駅以北の新幹線側道の道路改良や、北安江出雲線の函渠整備、大宮川や柳瀬川の改修に取り組んでまいります。また、木造住宅の耐震改修に対する助成枠を追加したほか、横山町地区における防火水槽等の整備を進めることとしております。

また、経済関係では、フランス語等のホームページのリニューアルに着手するなど、インバウンド対策の強化を図るとともに、農林関係では、大場排水機場の水門改修に取り組

んでまいりますほか、木の家づくり奨励金の助成枠を追加しております。

一方、福祉関係では、受給者数の増加に伴い、障害者自立支援や生活保護にかかる扶助費などを追加したほか、保健関係では、子育て支援や不妊治療をはじめとする、各種医療助成費を追加いたしました。

また、環境関係では、エネルギー使用効率化設備の導入に対する助成枠を追加したほか、文化関係では、芸術文化施設における多言語案内の充実に努めてまいりたいと存じます。さらに、教育関係では、泉小学校の屋外運動場の整備や、森山町小学校の校舎改築に向けた解体工事に着手いたしますほか、小中学校の大規模改修などを進めてまいります。

このほか、都市政策関係では、県とともに、東京国立近代美術館工芸館の移転整備に取り組んでまいりますほか、企業局関係では、下水道の管渠築造などを進めることといたしました。

予算以外の議案では、農業委員会の委員等の定数などを定める「金沢市農業委員会条例及び金沢市非常勤職員の報酬等に関する条例」の一部改正など条例案8件のほか、泉中学校校舎解体工事にかかる請負契約の締結や、先に述べた金沢プールの指定管理者の指定など、その他案件5件をお諮りし、報告案件として、過日専決処分をした損害賠償の額の決定など3件を報告しております。

以上が議案等の大要でございます。何とぞ慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。